

松友

発行

二松学舎大学附属高等学校
松友編集委員会

〒102-0074
東京都千代田区九段南2-1-32
電話：03-3261-9288
FAX：03-3261-9280
<http://shoyukai.p2.bindsite.jp/>

校長先生ご挨拶



名誉会長（校長） 鶴飼 敦之
校内には、生徒たちの確かな成長を感じさせる活気が満ちています。

会長ご挨拶



会長 大林 一夫（35期）
二松学舎大学附属高等学校同窓会会長の大林でございます。
日頃より同窓会の活動並びに運営にご協力頂き感謝申し上げます。

月日が流れるのは早いものです。

期別幹事会

日時 2026年6月6日（土）14時
場所 附属高等学校
※総会議案を審議致しますので、各期の期別幹事はご出席下さい。

定時総会

日時 2026年6月6日（土）15時～
場所 本校図書室（予定）

懇親会

日時 2026年6月6日（土）16時
場所 大学・地下食堂
会費 2000円
※詳細は、松友会ホームページをご覧ください。

戸井田先生ご挨拶・定年



先生 戸井田 晃尚
「人生のゆりかご」を卒業します…

今春も多くの卒業生が巣立ち、約6割が年内入試で進路を決定し、残る生徒も一般入試に全力で挑みました。それぞれが自らの進路と向き合い、最後まで努力を重ねた姿は誇りです。

同窓の皆様が築いてこられた歴史と精神を受け継ぎ、新たな価値と未来を切り開いていく姿勢を大切にしたいです。

今後とも母校への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

部活動においても、日々の鍛錬と仲間との切磋琢磨が実を結び、多くの部が大会や発表の場で成果を上げました。勝敗や結果の先にある努力の積み重ねこそが、生徒たちの人間的成長を支えています。これらの活

動を通して培われた協調性や粘り強さは、将来にわたり生徒たちの大きな財産となることでしょう。

二松学舎は来年、創立150周年という大きな節目を迎えます。そして本校も間もなく80周年を迎えようとしています。その先の時代を見据え、教育課程の見直しを行い、伝統を礎としながらも、新しい時代に求められる力を育む教育を進めています。生成AIの進展や学びの多様化など、高校教育を取り巻く環境が大きく変化する中にあっても、本校らしい教育の在り方を追求してまいり

中でも近年はダンス部の活躍が飛躍的に注目を浴びております。卒業生、鈴木誠也選手、初芝清さんの活躍は我々に勇気を与えてくれております。

私の娘2人も母校の卒業生であり、孫も5年後に入学予定です。

母校の発展は我々の望みであり願いです。

今後とも学校法人二松学舎・附属柏中高との連携と協力体制は不可欠と考えております。松友会会員の皆様のご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

松友会ホームページ



<http://shoyukai.p2.bindsite.jp/>

この三月末をもって、無事に任期満了を迎え、定年退職することになりました。四十年間という長きにわたってお世話になり、お礼の申し上げようもありませんが、この場をお借りして一言ご挨拶を申し上げます。



高等学校はいわば「人生のゆりかご」みたいなものだと思うので、教員になり

ました。気持ちよく揺られていくうちに、いつの間にか大人になる準備が整っている、こ



んなり方がいいのではないかと
思ってきました。
何ができたかと問われても、う
まく答えることができません。思
い返せば、「世間知らず」、「若氣
の至り？」というような過ちを、
多々繰り返す日々でした。それ
も、多感な年代の生徒と過ごす時
間は刺激に満ちたものでした。
特にラグビー部の生活からは、
ことばでは表現できない、多くの
経験をさせてもらいました。立地
条件の整わない中で、創意工夫を
凝らしながらチームを作り、ゲー
ムプランを練る。プランをグラン
ドで再現するのは選手の仕事です
が、そこに参画できたのは幸せな
時間でした。いい人生だったと思
える時間をいただきました。この
手応えと、長らく担当してきた「論
語」から学んだこと「苦しい時が
その人の真価を問われる時だ」を
杖にして、元気に生きていこうと
思います。
卒業生の皆様も、どうぞお元気
でお過ごしください。

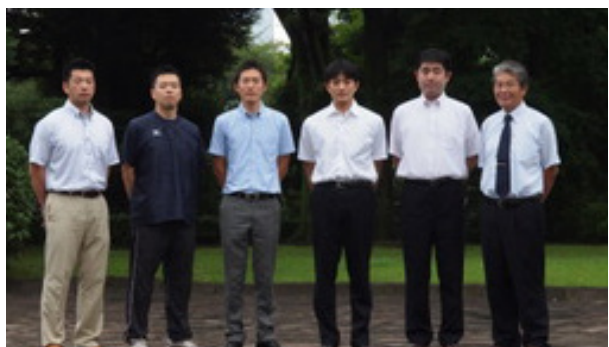
車田先生ご挨拶・退職



先生 車田 忠継

2026年3月31日をもって、二松学舎大学附属高等学校教諭(地理歴史・公民科)を退職いたしました。私は附属高校の卒業生(44期)ですが、非常勤講師(2年半)・任期付教諭(半年)を経て、幸いにも専任教諭として23年間、後輩である生徒たちと時間を共にすることができました。
最後の10年間は生徒募集を担当

していたので、学級担任はわずか11回。ただ、その内、5回の卒業生を送り出したこと、最初から最後まで自分も所属していた二松部の顧問を務められていたことが、今となっては大きな思い出です。
2026年4月からは、



ご縁があつて、豊島区西巢鴨にある大正大学文学部歴史学科で日本近現代史を担当する准教授を務めています。「天命」か否かは分かりませんが、50歳での決断の背景の一つには、確かに附属高校で学んだ「論語」がありました。
今から振り返ると、附属高校では本当に多くの出会いと学びがありました。これを活かして、新しい職場で教育・研究の任に当たっていく所存です。
卒業生の皆さま。今、多くの私立学校は超少子化・人口減少の波にさらされ、その存続自体が厳しい状況にあります。卒業生の支えがあつてこそその私立です。母校の永続のためにも、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

ダンス部報告

ダンス部 及川 彩乃

北九州にて行われた「第15回全日本高等学校チームダンス選手権決勝大会」に出場するにあたり、同窓会「松友」の皆様より遠征費用のご支援を賜りました。温かいご支援のおかげで、私たちは最後の大会を全国の舞台上で迎えることができ、心より感謝申し上げます。
大会当日は、これまで積み重ねてきたすべてを出し切る思いでステージに立ちました。全国から集まったチームの作品や表現に触れる中で、私たちもこの舞台で自分たちらしいダンスを届けようという思いを胸に、踊りに向き合いました。一人では決して立てなかつたステージに、仲間とともに踊れた時間は、私たちにとつてかけがえのないものです。互いを信じて踊るその瞬間が、深く心に刻まれる時間となりました。

その結果、Butterfly effectが小編成部門で優秀賞・全国4位、チーム二松が大編成部門で優秀賞・全国7位、団体総合で全国3位という成績を収めることができました。このような結果をいただけたのも、日頃から支えてくださった多くの皆様、そして同窓会「松友」の皆様のご存在があったからこそです。最後の大会をこのような形で締めくくることができたことに深く感謝するとともに、これまでの経験を糧に、それぞれの次のステージでも前進していきたいと思っております。



家庭科研究部報告

家庭科研究部部长 北脇 暖希

この度は、松友会の皆様から温かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。いただいた支援金で、文化祭で使用するエプロンを購入させていただきました。私たちが家庭科研究部は、文化祭に來場してくださる方々に喜んでいただけるよう、練習を重ねています。ご支援への感謝の気持ちを忘れずに、これからも一生懸命頑張ります。



バドミントン部報告

この度は、背面プリントの版代をご支援いただきありがとうございます。高体連のルール変更に伴い、従来「東京」だった地区名を「東京都」に変更いたしました。私たちは、大会で勝ち進むために、試合形式に加え、ノックやパターン練習といった地味な基礎練習にも丁寧に取り組んでいます。新しいユニフォームを着用し、できるだけ多くの試合ができるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。



理数科研究部報告

理数科研究部では、新たな活動テーマとして、「都市に生息する水生生物の研究」をスタートさせました。この研究では、実体顕微鏡を使って水生生物を詳細に観察し、種同定を行うことがとても重要になります。今回、松友会よりクラブ活動支援金をご助成いただいたおかげで、新たに実体顕微鏡を購入することができました。よりいっそう充実した研究活動を行える体制が整いました。心よりお礼申し上げます。活動をさらに活発化させて、多くの成果が出来るようになります。ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。



同期会70期生報告

3月14日(土)、二松学舎の第70期生たちが二松学舎大学附属高等学校に集結しました。この学年の卒業式は、2020年2月29日。

予定通り卒業式の準備をしていましたが、じわりじわり迫り来る新型コロナウイルスによって、卒業式のわずか数日前に、臨時休校そして卒業式を会館で挙行できないということが決定されました。

普段挙行している日本教育会館ではなく、学校の教室にてマスクをして静粛に式を行ったのを今でも覚えています。あれから6年、70期は4月からは25歳になる学年です。

そんな70期の学年主任は、戸井田先生。

戸井田先生はこの3月で定年退職を致しました。卒業式が出来なかった学年の生徒たちが、戸井田先生の卒業をお祝いしようとなんと約100人の卒業生たちが集まってくれました。会場は、二松学舎大学1号館の13階をお借りしました。

会の最中、戸井田先生の周りには多くの生徒が集まっています。その姿は昔と変わらず。すっかり大人になり、みんなそれぞれで活躍している姿を見て話を聞くと、なんだかポロっと涙が出そうにもなる、そんな時間でもありました。



二松学舎の生徒は、いつの時代も二松学舎の生徒。そして、先生もずっと先生。そんなことを感じた1日でした。戸井田先生、長年の二松学舎大学附属高等学校での勤務、大変にお疲れ様でした。たくさんの方の愛情をありがとうございました。

2025年度 松友会収支予算(案) (2025年4月1日~2026年3月31日) (単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度決算額	差 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	7,344,066	7,051,283	292,783	
2023年度卒業生人会金(代理徴収)	750,000	663,000	87,000	3,000円×250人
2023年度卒業生年会費(代理徴収)	2,500,000	2,210,000	290,000	10,000円×250人
卒 業 生 年 会 費	0	0	0	終身会費
受 取 利 息	2,000	2,302	△ 302	
そ の 他	0	0	0	
合 計	10,596,066	9,926,585	669,481	

科 目	本年度予算額	前年度決算額	差 額	摘 要
学 園 祭 支 援 金	100,000	100,000	0	二松学舎祭支援
生 徒 会 支 援 金	400,000	235,224	164,776	部活動支援
修 学 援 助 金	200,000	200,000	0	
教 育 活 動 支 援 金	300,000	300,000	0	別口座に周年事業費として積立
卒 業 記 念 品 費	300,000	242,110	57,890	新卒業生への記念品代
同 期 会 通 信 費	100,000	20,000	80,000	同期会開催への通信費補助(含卒業生住所ラベル)
『松友』作成費	100,000	66,000	34,000	『松友』データ納品
事 務 費	100,000	60,162	39,838	2024年度卒業生1名分をここから返還
郵 送 費	100,000	1,890	98,110	
振 込 手 数 料	20,000	11,880	8,120	
交 際 費	50,000	0	50,000	慶弔費含
旅 費・交 通 費	50,000	10,460	39,540	
松 友 会 基 金	500,000	463,393	36,607	HP運営経費・クリアファイルコンテスト経費・懇親会経費など
業 者 委 託 費	300,000	631,400	△ 331,400	(株)瀬味証券印刷でのデータ管理など
予 備 費	1,600,000	240,000	1,360,000	部活動の全国大会出場などに対応(含野球部選抜出場分の支払)
次 年 度 繰 越 金	6,376,066	7,344,066	△ 968,000	
合 計	10,596,066	9,926,585	669,481	

期別幹事会・総会報告

期別幹事会、総会は6月7日(土) 附属高校6階図書室において開催されました。名誉会長嶋飼校長による挨拶に始まり、大林会長による近況報告、また幹事長からは、2024年度事業報告などが審議、了承されました。

総会終了後には大学学生食堂にて懇親会がおこなわれ多くの方々の参加のもと、当日まで本校に於いて実習を行った教育実習生も参加し有意義なひとときを過ごしました。6月6日(土)に開催されました。是非母校に足をお運びください。

同窓会(松友会)にご意見・ご相談がある場合遠慮なく卒業生教員にお申し出ください。

同期会報告

寒さが厳しくなってきましたが、皆さんお変わりありませんか？

11月29日(土)にアルカディア市ヶ谷において生徒44名、先生方6名、計50名で古希同期会を無事終えることができました。

今回は会を始める前に、亡くなった恩師や仲間達の思いを込めて黙祷から始まりました。地代所先生の恩師代表挨拶をはじめとして、田中先生、志田先生、山下先生、平先生の近況報告、志村先生のパワーダンスで会は盛り上がりました。(幼稚園で蝉や蜂の講演会をする時に体に蝉の折り紙をつけて登場するらしく、その時の様子を見せてくださいました) また、いつも大役の司会をお願いしている木場君、乾杯の挨拶をお願いした小林君、閉会の挨拶をお願いした玉井さんありがとうございました。昔話で花が咲き、あつという間の楽しい時間でした。

皆の笑顔と楽しそうな様子を見るのができ、本当に良かったと思っております。

また皆さんとお会いできることを楽しみに、どうぞお体ご自愛ください。

幹事代表
金子和子



2025年度の
教育実習生を紹介しします



この度母校で教育実習をさせて頂いた経験を通して、授業づくりと教師としての在り方の両面について多くを学びました。授業面では、時事ネタやニュースに日頃から関心を持ち、丁寧な準備を重ねることが授業の質を高めると改めて実感しました。また、自分自身が面白いと思える内容を追求することの大切を学び、授業をすることの楽しさに気づききっかけにもなりました。実習にあたって生徒の前に立つのに相応しい人であるために、まずは挨拶や元気な態度

といった基本を見直すこと、そして自分自身も学び続ける姿勢を忘れてはならないということを強く感じました。母校で得た経験を糧に、学びの楽しさを伝えられる教師を目指して引き続き努力していきたいです。

実習生代表
松澤華鈴

氏名	ふりがな	教科
小林 光弥	こばやしみつや	国語
丸山 博加	まるやまひろか	国語
坂口 実帆	さかぐちみほ	国語
田代 真穂	たしろまほ	国語
高橋 優奈	たかはしゆうな	国語
飯田 耕太	いいだこうた	国語
田口 梨華	たぐちりか	国語
竹谷 宇広	たけやたかひろ	地理歴史 (日本史希望)
渡邊 早春	わたなべはる	地理歴史 (日本史希望)
和多田 昂喜	わただこうき	数学
本間 大地	ほんまだいち	理科 (化学希望)
山宮 菜津	やまみやなつ	理科 (物理希望)
松澤 華鈴	まつざわりん	英語
河口 彩愛	かわぐちあやな	英語
金子 百花	かねこももか	保健体育



2025・二松学舎祭開催

生徒会長 井上 夢愛

今年の二松祭では、多くの来場者を迎えることができたうえ、生徒の皆さんも力を合わせ一丸となって頑張り、活気のある二松祭を見せることができたと思います。私自身は、生徒会長として初めてこういった大規模な行事の運営を任されており、その責任の重さと緊張感でいっぱいでした。今回の二松祭は1年時の文化祭実行委員経験や2年時の副会長としての会長補佐から得た学び、友人たちの生徒側からのフィードバックを糧に、生徒一人ひとりが主体的に取り組める行事にしたいという思いを持って臨みました。

生徒会長としては、準備期間から当日や後片付けまでの文化祭実行委員のタイムスケジュールを始めとした行動予定の計画、中夜祭での出し物企画、委員や部活動の役割分担などを行いました。各委員会やクラスと連携し、円滑な運営を意識して取り組み、前年度の失敗を活かしより良い二松祭にするよう心がけました。そこから「二松祭の成功」に向けて多くの人に関わり合い、互いの立場から協働する姿を目の当たりにして、たくさんの支えの上で行事が成り立っているということを引き取りました。また、松友会からは10万円の支援をいただき、「支援は当たり前ではない」という意識のもと責任をもって使用した結果、必要な物品や環境を整えることができました。

以上のように生徒会長として二松祭を終え、達成感と同時に人をまとめる難しさや、多くの支えが必要不可欠だということなど、沢山の学びを得ることができました。そして、周囲への感謝の気持ちを軽んじず大切に日々を過ごすことが重要だということに他ならないと感じました。これらの経験を活かして、大学での文化祭実行委員やサークル活動など多くのことに転用し、精進していきたいと考えています。

最後に松友会の皆さま、先生方、生徒の皆さん、二松祭において生徒会に協力していただき、本当にありがとうございました。ぜひ来年の二松祭も期待してください。二松祭大林会長より賛助金の贈呈、実行委員長菅さん後方前田さん、井上綾乃さん、安齊さん。



松友会主催

「二松クリアファイル」 デザインコンテスト

→ 2025年度も生徒の皆さんから評判の良いクリアファイルのデザインを在校生から募集しました。多くの応募作品の中から、厳正な審査が行われました。

最優秀賞に選ばれたクリアファイルは、在校生に配布すると共に期別幹事会、総会等で配布する予定です



3年C組 佐野友香さん

このたびは最優秀賞に選んでいただき、大変驚くとともに大きな喜びを感じています。このファイルは学校説明会などで使用されると聞き、二松学舎に通う元気いっぱいな生徒の姿を思い浮かべながら制作しました。より印象に残る作品にしたいと考え、校門前を背景にしてリアルさにもこだわりました。アイデアを形にするまで何度も試行錯誤しましたが、最後まであきらめずに取り組んで本当によかったです。



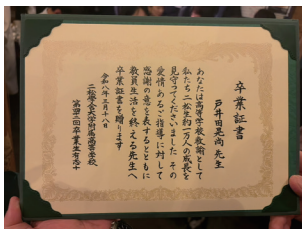
3年F組 中村優花さん

今回は賞を受賞することができ、とても嬉しく思っています。今まで継続してきたことが形になり良かったです。描き途中では思うようにいかないこともありましたが、最後まで丁寧に取り組めたと思います。事前に設定されたコンセプトから逸れないようにすることが大変だと思いました。これからは苦手なことにもなるべく挑戦し、できるようにしていきたいです。この経験を励みに、継続していきたいと思っています。

同期会報告

この春、国語科の戸井田晃尚先生が退職されるという噂を聞き付け、平成元年入学の私たち、第42回卒業生でお祝いをさせていただきました。ラグビー部をはじめ、担任としてお世話になった人、親子二代で二松生だった人を中心に、約50名が久しぶりに集うことができました。平日の夜開催のため、残念ながら予定が合わなかった人も多かったのですが、先生にまつわるクイズ大会などで盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。新卒以来40数年間二松学舎高校で教鞭をとっていらした先生でも、なんと3年間担任として受け持たれたのは私たちともう一つの学年のみとのことでした。

先生には、これからの新しい一歩を記念して靴を、そして、感謝を込めた「卒業証書」をプレゼントさせていただきました。私立の学校のいいところは世話になった先生がずっといること。ちょっとオレは運も良かったし、なんですつとやれたかと言うと、たぶん、子どもにも恵まれた。この代は、数少ない大事な子供たち。今日はありがとう。どうもね、本当に。」と話してくださる戸井田先生は、昔も今も私たちのかけがえない先生でした。これからは、野球応援でアルコール片手にともに応援できることを楽しみにしています。



第42回卒業生
山城将史・藤田(大内)裕
美・格和(小熊)恵美子



恩師から卒業生へメッセージ

令和7年度に第3学年を担当された先生から、卒業生へのメッセージをお届けいたします。



3年A組 野木 繁 (国語科)

この春、3年生を送り出し、教員生活も34年目を迎えました。いつも、二松学舎から巣立って行った皆さんの活躍を心より祈っています。学校の近くに来た時には、ぜひ近況をお知らせください。

3年B組 兼子 航 (数学科)

先日、無事に第76期の生徒たちを送り出し、二松の歴史に新たな一ページを刻むことができました。私は今回初めての担任として卒業を送り出し、大変感慨深く感じています。彼らがこれまでの卒業生同様、社会で活躍していくことを願っています。

3年C組 相良 恭子 (国語科)

76期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。松友会の皆様、ご無沙汰致しております。おかげさまで、附属高等学校で20年目の春を迎えることができました。今後とも励んでまいります。お近くにお運びの際には、ぜひ近況をお知らせください。皆様との再会を楽しみに致しております。

3年D組 麻生 修平 (英語科)

76期生へ。卒業おめでとう。人格を陶冶し、努力を怠らず、良心と能力を以って社会に貢献できる人間になってほしいと願っています。そして、成長した姿を見せに、また高校を訪れてくれることを楽しみにしています。

3年E組 服部 真悠理 (地歴公民科)

ご卒業おめでとうございます。三年間、皆さんと共に過ごし、皆さんと共に成長して行くことができた事を、とても嬉しく思います。これからは、共に過ごした二松学舎高校での経験を胸に、それぞれの場所へ、それぞれの目標を持って、歩みを進めていってください。常に、今を大切に、頑張ってください。応援しています。

3年F組 西條 智博 (体育科)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校3年間沢山のことを経験してきたと思います。これからの長い人生、山あり谷あります。負けずに笑顔で前進あるのみです！頑張ってください！



訃報

神立春樹先生

(元本校校長・元二松学舎大学国際政治経済学部教授・二松学舎名誉舎友)

2025年2月9日に90歳で逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

皆さんもさまざまなシーンで「Ai」という言葉が普及し、生活の一部になりつつあります。仕事のみならず普段の生活も、Aiとの共存、活用で大きく変わろうとしています。

私は普段、人事の仕事をしていますが、Aiの普及によって採用面接がAiで行われる時代です。社員研修の資料についても、ほぼAiが作成できてしまう段階にきています。

それでもAiにできないこと、それは「一人の心を動かせるのは、人間だけ」と考えています。

大きく時代が変わろうとしているからこそ、改めて「人だからできること」を考えてみませんか。今回も、松友29号をお読みいただき、ありがとうございます。

S・K